

株式会社亀岡塗装 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年5月22日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

企業名	株式会社亀岡塗装	
代表者名	池田 大	
所在地	・ 事務所 北海道札幌市北区屯田7条5丁目3-19	
資本金	100万円	
従業員	3名 (2026年4月現在)	
業種	塗装工事業	
事業内容	・ 建築塗装 (住宅、アパート、学校、倉庫など) ・ 鉄骨塗装 (工場、倉庫など)	
沿革	1954年 2025年	亀岡達男氏が当社の前身となる株式会社丸亀岡塗装を設立 株式会社丸亀岡塗装が廃業を表明 池田大氏が株式会社亀岡塗装を設立

2. 経営理念・経営方針

経営理念

「私たちは、受け継いだ仕事と技術を守り育て、従業員と地域の未来を支える企業であり続けます。」

経営方針

(1)「受け継いだ職人技術と信頼関係を、何よりも大切に」

㈱丸亀岡塗装から受け継いだ職人の技術や仕事の姿勢、長年の取引の中で築かれてきたお客様・取引先との信頼関係を、経営の土台として大切にしています。創業時からのご縁を尊重し、約束を守る誠実な対応を積み重ねることで、その信頼を次の世代へ繋いでいきます。

(2)「確かな技術と品質の追求」

吹き付け塗装をはじめとする技術力を磨き続け、洗浄・下地補修・養生・塗装・点検の一つ一つの工程にこだわり、長く安心していただける高品質な施工を提供します。

(3)「目先の利益よりも、本当に必要な工事を」

過剰な塗り替えや不要な工事を勧めるのではなく、建物の状態やお客様のご要望を踏まえた「本当に必要な工事」の提案を徹底しています。現地調査の内容や写真を用いて、工事内容と費用の理由を丁寧に説明し、ご納得いただける最適な提案を通じて信頼にお応えします。

(4)「働く仲間と家族を守り、地域の産業と雇用を守る」

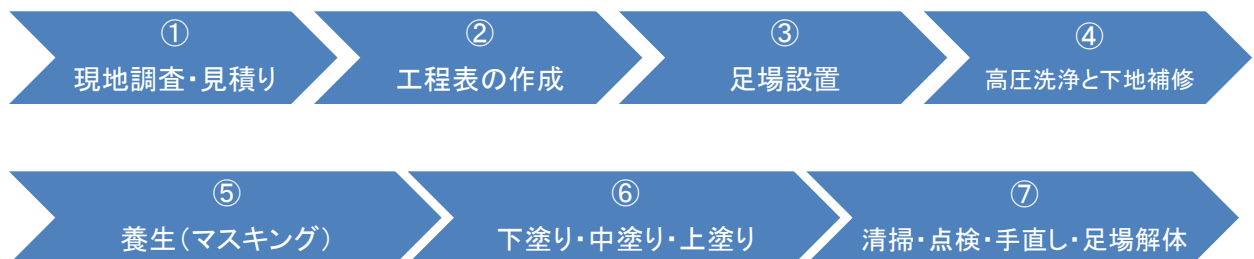
従業員や一人親方、外注先をかけがえのない仲間と捉え、安定した雇用と働きやすい環境づくりに取り組みます。技術指導や独立支援も通じて、次世代へ技術と仕事を繋いでいきます。

3. 事業概要

当社は札幌市を拠点とする塗装工事業者であり、戸建住宅・アパート・マンション・店舗など、地域のさまざまな建物を対象に外壁・屋根・内部の塗装工事を行っている。北海道特有の気候や凍結・融解の影響を踏まえ、建物を「守る」ことを第一に考えた塗装で、暮らしと資産の長寿命化に貢献している。

当社が対応している主な塗装工事の種類は、外壁塗装、屋根塗装、内部塗装(天井・壁・木部 など)、吹き付け塗装である。建物の用途や既存仕上げ、周辺環境に合わせて塗料や工法を選定し、見た目の美しさだけでなく、耐久性も重視した施工をしている。

塗装工事の業務フローは、一般的に以下のとおりである。



当社が特に重視しているのは、高圧洗浄と下地補修であり、汚れやチョーキングをしっかりと落とし、爆裂部を削ってモルタルやパテで平滑に補修することで、その後の塗料の密着性と耐久性が大きく変わる。こうした「最終的には見えなくなる部分」に時間と手間をかけることが、塗装を長持ちさせるための最も重要なポイントであると位置づけ、日々の現場において徹底している。

■ 洗浄の工程写真



■ 塗装の工程写真



出所: 株式会社 亀岡塗装 提供資料

【当社の強み(吹き付け塗装・技術と信頼)】

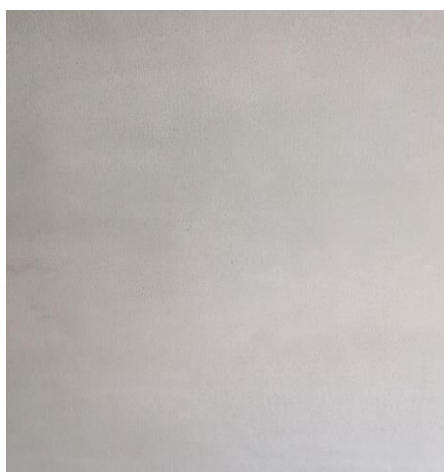
当社の大きな強みは吹き付け塗装の技術力と、前身である㈱丸亀岡塗装から受け継いだ職人技術と長年の信頼関係にある。主要取引先である大手ハウスメーカーをはじめ、多くの吹き付け塗装を長年にわたり任されており、その安定した品質と仕上がりが高く評価されている。

吹き付け塗装では、①洗浄・補修・養生、②プライマーによる下塗り(密着性の確保)、③水や骨材を混ぜた吹き付け用塗料の作成、④エアースプレー量を調整しながらの吹き付け作業、といった工程を踏む。なかでも「水や骨材の微妙な配合比率」や、「気温・湿度・下地状況に応じたエアースプレー量や吹き付け方」の調整によって、模様の出方や仕上がりの均一さが大きく変わる点に、経験と技術の差が最も表れる。

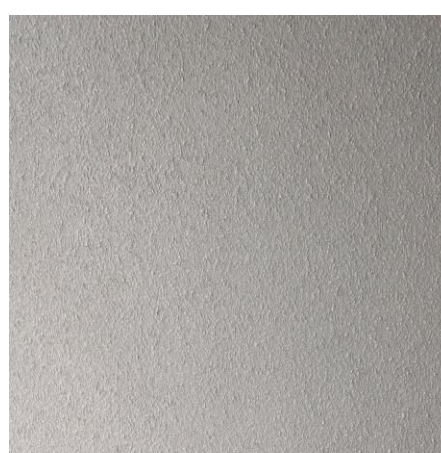
当社では、これまでの豊富な現場経験をもとに、ムラの少ない美しいパターンと、ひび割れや剥がれが起きにくい長寿命な仕上がりを実現している。また、長年付き合いのある取引先・外注先との強固なネットワークにより、安定した施工体制と品質のばらつきの少ない工事が可能となっている。

受け継いだ技術と信頼関係、そして吹き付け塗装の専門性を活かし、当社は今後も札幌市および近郊エリアの建物と暮らしを長く支えていく方針である。

■ Before



After



※「吹き付け塗装の Before／After 写真」

Before「色あせ・ひび割れが目立つ外壁写真」、After「仕上がりの写真」

出所:㈱丸亀岡塗装 提供資料

4. サステナビリティ活動

(1) 環境面での取り組み:お客様への最適な提案による塗装回数や無駄な工事の削減

当社は、目先の工事量を増やすのではなく、顧客の建物の状態や将来の計画に合わせた「最適な提案」を行うことで、過剰な塗装回数や不要な工事を抑えるよう努めている。必要以上に塗り替えを繰り返さないことは、塗料や足場などの資材使用量の削減につながり、結果として環境負荷の低減にも寄与している。

現地調査の結果や写真をもとに、工事の「やるべきところ」と「まだやらなくてよいところ」を丁寧に説明し、無駄のない計画的なメンテナンスを提案している。建物を長く使用し続けるという視点から、環境にも配慮した塗装工事を心がけている点が特徴である。

(2) 社会面の取り組み:雇用・技術・取引を次世代へつなぐ

● 創業の背景と社会的使命

当社は、(株)丸亀亀岡塗装から技術と取引関係を引き継ぐ形で創業した。これまで地域の塗装工事を長年支えてきた丸亀亀岡塗装が、事業規模の縮小を検討した際、「この仕事を続けてほしい」、「技術と関係性を絶やしたくない」という従業員と取引先の強い声が上がったことを受け、雇用と取引を守ることを第一に、従業員を代表して現代表者である池田 大氏が新たに会社を設立した。

このような創業の背景そのものが、地域の雇用・技術・取引関係を持続させるという、当社の社会的使命に繋がっている。

● 雇用維持と技術継承への取り組み

当社は、雇用の維持と技術継承への想いを軸に、長年勤続する従業員や一人親方、外注先との安定したパートナーシップを大切に、世代を超えた技術継承と雇用の維持に努めている。働く人とその家族を守る仕組みづくりを進めるとともに、従業員が将来独立することも視野に入れた人材育成を行い、独立後も取引を継続することで、個人のキャリアと地域の仕事を両立させる体制づくりを進めている。

● 地域産業の継続性向上への貢献

当社は、単に塗装工事を請け負うだけでなく、「人・仕事・技術・取引」を次世代につなぐことを重視し、地域の塗装産業全体の継続性向上に貢献している。地域社会とともに持続的に発展していくことを目指し、今後も雇用・技術・取引を守り育てていく方針である。

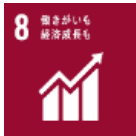
5. サステナビリティ目標

株式会社亀岡塗装の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社亀岡塗装の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社亀岡塗装のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	人的資本経営の推進
目標・KPI	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連するSDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。